



交流センター機能・運営をどうする

関 幸悦 議員

子育て・健康・教育福祉の拠点にする
町 長



すすむ交流センター建設

交流センターの活用は

平成29年度完成に向けて最優先的に工事が進められている。現在福祉会館には、母子センター・生涯教育・図書館があり、その他に文化・演芸・地区活動など中央公民館の役割をしている。福祉会館に替わる交流センターをどう活用するか。

代替施設として、5つのエリアを持つ施設になる。交流の場としての「エントランスホール、交流サロン」。学びの場としての「図書館」。表現の場としての「会議室・調理室・和室」。創造の場としての「多目的ホール」。福祉の場としての「保健センター、子育て世代活動支援センター」の拠点となり機能が、より効果的に利用できる施設になる。



「雪みち愛護デー」地区民総出で！

田沢地区の流雪溝は

当町の克雪対策・流雪溝整備は、最重要施策だ。本町・横山・来迎寺地区は整備され、岩ヶ袋・海谷・鷹巣地区が工事中。田沢地区の流雪溝整備をどう進めて行くのか。

人材支援の受け入れは

地方創生に積極的に取り組む自治体に対し、国は人材を派遣し、直面する課題を支援するとしている。人的支援を受けると考えは。町長 人材の受け入れを希望する場合、企画・観光・商業・農業など、どのような事について派遣を受け入れるのか、目的を明確にしなくてはならない。人材が必要と判断した場合、受け入れたい。

町の考えを問う

7議員が一般質問



一般質問とは…
議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では7議員が一般質問を行いました。

通告内容

遠藤 宏司 議員
◆保育・教育行政における支援の拡充を
15ページ

関 幸悦 議員
◆二期目の町政を問う
◆地方創生「まち・ひと・しごと」について問う
11ページ

小玉 勇 議員
◆職員の健康は適正に管理しているか
◆交流センターを核とする町づくりを目指せ
16ページ

齋藤 公一 議員
◆基幹産業である農業振興の事務体制は
◆今後の財政事情と人口減少対策は
◆地域振興の取組みは
12ページ

村形 昌一 議員
◆18歳選挙権で若年層の政治への関心を高めよ
◆消防団の体制強化で防災対策を図れ
◆官民あげての駅東地区開発を
◆コミュニティ・スクールの実績と課題は
17ページ

村岡 藤弥 議員
◆幼児教育の考え方は
◆交流センターの運営は
13ページ

大山 二郎 議員
◆28年度予算と今後の財政運営、諸課題の取組みは
14ページ